

## 音楽する写真—萩原朔美の前橋10年展を開催します

前橋文学館特別館長・萩原朔美が同館館長に就任以来、前橋で撮影した10年間の写真作品と映像作品、詩人・吉増剛造との映像書簡（令和5年）、「造本計画」シリーズ（昭和46年～令和8年）、これまでの著書などを紹介します。

- 1 会期 5月30日（土）～令和9年1月24日（日）
- 2 会場 前橋文学館3階オープンギャラリー
- 3 料金 無料
- 4 内容

「スマホ散歩」というスタイルで撮影する萩原は、その時の心境を「同じリズムだがメロディが変化する。まるで音楽を奏でる感覚だ」と語り、見慣れた風景に潜む変化や発見を新鮮なまなざしで見つめ、独自の表現へと昇華させています。モチーフは街中で翻るフラッグや道路標識、影、街路樹、トイレに居る萩原自身などさまざまです。スマホに溜められた写真はいわば日常を刻む時間と記憶の集積といえますが、それらがモザイク化したフォト・モンタージュとして再構成されると、躍動感ある視覚的な効果をもたらします。色彩とリズムを放つ作品の数々は、観る者それぞれが持つ概念を揺さぶり、意外な感覚と思考を誘うことでしょう。会場に流れる音楽は萩原の写真作品にインスパイアされたピアノ曲（山屋寿徳作曲、演奏）です。併せてご鑑賞ください。

※会期中、一部を展示替えします。

### 5 オープニングイベント

ポエトリーフェスティバルと共同で萩原朔美が詩篇朗読と映像作品を交えたトークを行います。その他詳細は添付のチラシをご参照ください。

- (1) 日時 5月30日（土）13時～13時50分
- (2) 会場 同館3階ホール

### 本件に関するお問い合わせ先

文化国際課 前橋文学館

電話 外線 / 027-235-8011